



鈴鹿市考古博物館
Suzuka Municipal Museum of Archaeology

速報展

発掘された鈴鹿 2025

2026.3.14 (土) - 6.14 (日)

ふじやま

富士山1号墳 (5次)

こくぶ

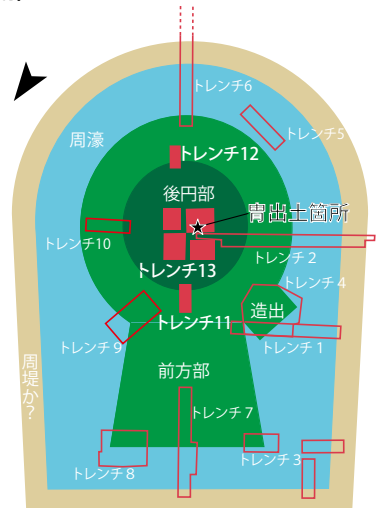
国分町

2025年12月1日～2026年3月31日(予定) 保存目的調査(学術) 105㎡

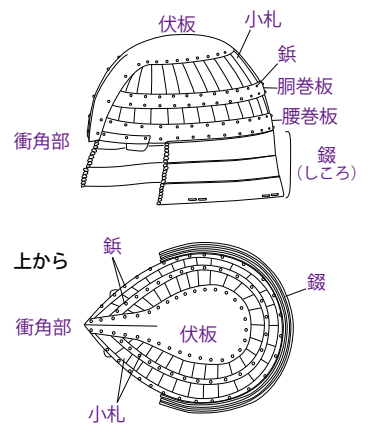
古墳時代中期後半(5世紀後半)の全長55.7mの帆立貝式前方後円墳で、西側のくびれ部に造出が付きまします。

墳頂部を調査したところ、未盗掘の埋葬施設を確認しました。現在も調査中ですが、黄白色の均質な粘土が敷かれているようで、その上に木棺が据えられていたと考えられます。この東端で、鉄製の冑が出土しました。前面部から頭頂部を覆った鉄板(伏板)が軍艦の舳先にある衝角のように尖り、縦長の小さな鉄板(小札)を束ねて横長の鉄板(胴巻板・腰巻板)と鉚でつなぎ留めていることから、「小札鉚留衝角付冑」といわれています。出土例は三重県内で初めてで、全国でも30数例しかありません。

来年度も引き続き調査し、被葬者像を絞り込んでいく予定です。



模式図



小札鉚留衝角付冑 出土状況(南東から)



小札鉚留衝角付冑 内側の様子(南西から)

小札鉚留衝角付冑 イメージ図



埋葬施設と小札鉚留衝角付冑(東から)

史跡 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡 44 次） 広瀬町

2024 年 12 月 23 日～2025 年 3 月 20 日 保存目的調査（学術） 327 m²

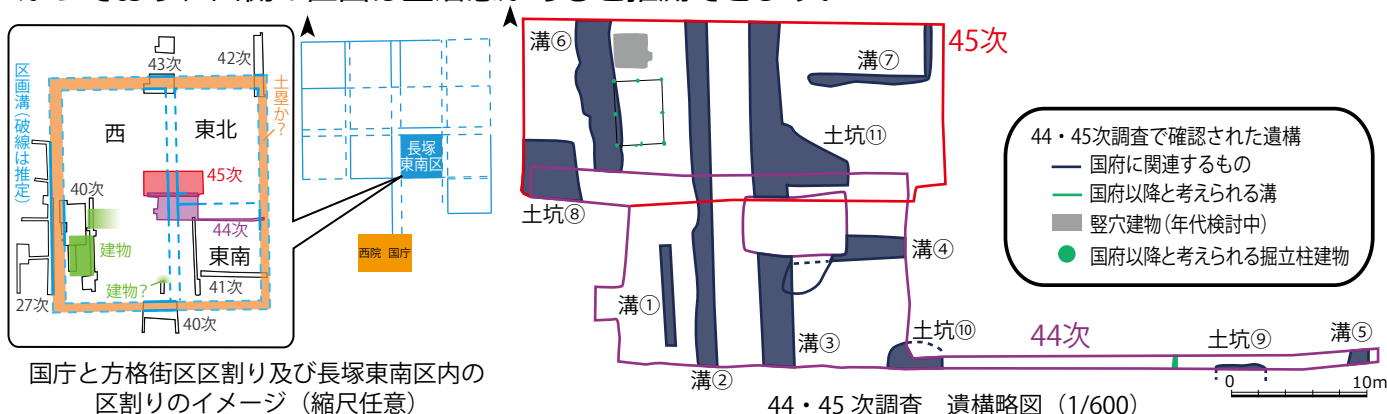
奈良時代の国庁より北側の、南北 3 × 東西 4 区画に地割りされた地域を方格街区と呼び、現在は長塚東南区の調査を進めています。

43 次調査（令和 5 年度）で検出した南北方向の溝 2 条の延長（溝②・③）のほか、東西方向の溝④を確認しました。これによって、長塚東南区内は少なくとも西・東北・東南の 3 つに分かれている可能性があります。

今回の調査区内で建物跡はみつきりませんでした。北西端で土師器や須恵器を伴う土坑⑧を検出しました。過去の調査では、この西側で建物に伴う基礎地業（地盤改良の痕跡）がみつかり、西側の区画は生活感があると推測できます。



溝②・③検出状況（南西から）



国庁と方格街区区割り及び長塚東南区内の区割りのイメージ（縮尺任意）

史跡 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡 45 次） 広瀬町

7 月 1 日～11 月 30 日 保存目的調査（学術） 401 m²

44 次調査区の溝②・③が途切れずのびることを確認しましたが、土坑⑧からは土師器や瓦が少量出土したのみで、建物である明確な証拠は見つきりませんでした。

溝③・④・⑦ではほとんど遺物が出土しない一方で、溝②からは瓦が多く出土し、重圏文軒丸瓦と重廓文軒平瓦も見つかっています。土師器や須恵器などの生活用品も多く、長塚東南区の西側と東側で遺構・遺物の差が明らかとなってきました。



航空写真（北西上空から）※田中 弘志氏 撮影



溝②出土 奈良時代の重廓文軒平瓦



溝②出土 奈良時代の土師器杯（暗文）

磐城山遺跡 (18-2・19次) 木田町

18-2次 1月6日～3月21日 個人農地改良工事 150㎡ (遺構検出及び現代溝の撤去のみ)
 19次 4月14日～12月16日 個人農地改良工事 263㎡

昨年度の18次調査区の北側を拡張し、^{たてあな}竪穴建物 12棟、^{ほったてばしら}掘立柱建物 5棟、^{ほうけいしゅうこうぼ}方形周溝墓 2基、^{どこう}土坑 3基のほか、多数の溝や柱穴などを確認しました。

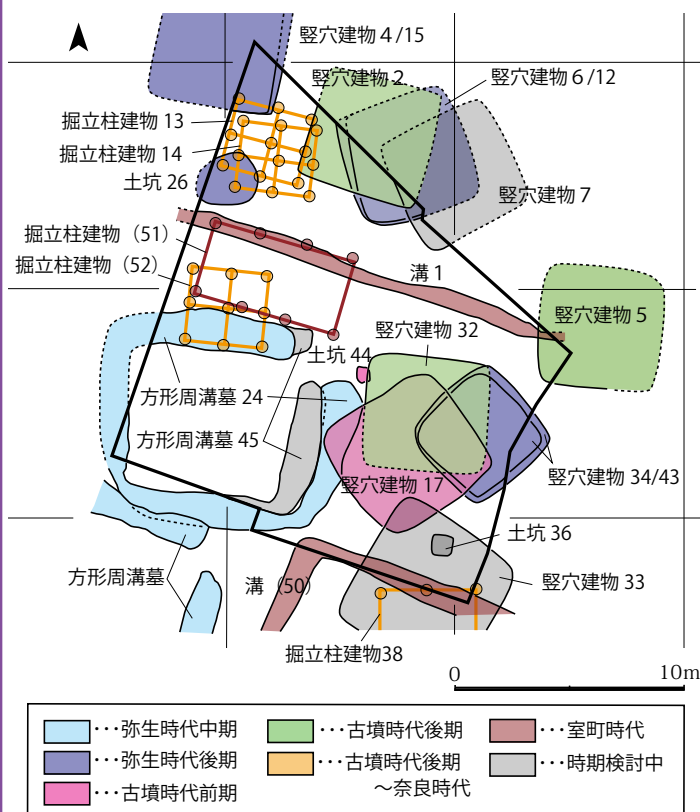
これまでの調査成果から弥生時代後期の大集落とされていましたが、18次調査で初めて墓(方形周溝墓)が発見されました。今回、この方形周溝墓の延長から弥生時代中期後葉まで^{さかのぼ}遡る土器が出土したため、墓と集落が同時に作られたものではないと分かりました。

方形周溝墓がある場所は遺構の重複が著しく少なく、弥生時代後期には墓を避けて集落が広がっているように見えます。磐城山遺跡で暮らした弥生時代後期の人々は、ここに前代の墓があることを認識していたと推測できます。

その後、古墳時代前期初頭までにこの方形周溝墓は大量の土器とともに一気に埋め戻されています。これ以降に竪穴建物 17 がつくられており、古墳時代以降は墓域としての意識がなくなっていたようです。



これまでの調査区 (1/2,000)



遺構略図 (1/400)



航空写真 (南上空から) ※田中 弘志氏 撮影



方形周溝墓 24 出土 弥生時代中期の壺



方形周溝墓 24 弥生土器出土状況 (北から)



こくふがし
国分東遺跡

国分町 8/22・12/9・11・12

常滑焼の鉢を伴う室町時代の区画溝を確認しました。南北に2区画以上はあったと考えられます。

● **伊勢国府跡
(長者屋敷遺跡)**

おかだじんじや

岡太神社遺跡 岡田一丁目 10/24

室町時代の遺物を含む層の下に、鎌倉時代の溝を確認しました。



つかごし

塚腰遺跡

郡山町 4/8・9・30、5/13、12/2・3

古墳時代以降の複数の竪穴建物や、鎌倉～室町時代の土師器皿を伴う溝を確認しました。



あかごう

赤郷遺跡

秋永町 4/8、5/14、6/17・18、10/15

竪穴建物等から出土した須恵器・土師器から、古墳時代の集落と考えられます。



調査遺跡位置図 (1/50,000) (国土地理院発行の2万5千分の1電子地形図を使用)

速報展関連イベント

■スライド説明会 (各 13:30 ～) 講師：発掘調査担当者 場所：考古博物館 講堂

①富士山1号墳 5月17日(日) / ②磐城山遺跡 6月14日(日)

考古博物館
公式 Facebook

考古博物館
公式 X



観覧料無料日

三重県民の日を記念して、4月18日(土)・19日(日) / 国際博物館の日を記念して、5月17日(日)

〒513-0013 鈴鹿市国分町 224

T E L 059-374-1994 F A X 059-374-0986

E-mail kokohakubutsukan@city.suzuka.lg.jp

U R L <https://www.city.suzuka.lg.jp/kouko/21>



鈴鹿市考古博物館

Suzuka Municipal Museum of Archaeology

